

師友道友の活動を綴る善行伝承誌

第0105号

2025.5月号

令和七年

NPO法人福岡実践人

食物については、(一)玄米食に切り換えること。(二)野菜類を豊富にとつて、(三)蛋白質は肉類からではなく、なるべく食物性蛋白質に切りかえること。すなわち豆腐その他、大豆から作ったものにして、できるだけ、(四)白砂糖を減らすこと。

森信三先生一語千鈞より

山又



父 親 人 間 學 入 門

森 信二先生 講述

実践人福岡仁風讀書会 第一〇五回 4月12日(土)

場所:仁風庵

(実践人の家の会員であればどなたでも参加できます)。

(参加費無料) 詳細は、世話人へお問い合わせください。

十五 趣味と教養 —父として・人間として—

流水不争先 前章の「地位と名声」については、何だか曖昧ともいえる様な

事を申したようですが、しかしあたくしとしては、(一)人間として名利を求めたがるのは、自己保存の本能として一面ムリからぬものがあるということ。次に

(二)さりながら、人は他面名利の念を超える処がなければ、天地・人生の眞の味わいは分からぬといふことを申したかったのであります。しかし(三)人間というものは名利の念を超えるということは真に容易なことではなく、お互にこの肉体をもつ限り、名利の念の完全なる根切りは出来がたいのではあるまいかとも思われる所以であります。

わたくしの様なものでも時おり揮毫を頼まれることがありますが、時によつては「流水不争先」というコトバを書くこともありますが、これは現世的な榮進の道を、アセキ生きてきた人が、あげくの果てついに開眼せられた一境地を申したものがと思われるのであります。いつも申すのですが、人間は自分の実力相応の地位より一段か一段半低い処に甘んじて、悠然とゆとりをもつて生きる生き方というもの、男の生き方として好ましいではなかろうかと思うのです。

ところで本題の「趣味と教養」という問題ですが、人間は本業の他に何か一つ趣味をもつべきだと言われます、尤なことであります。もつとも人々の中には本業の仕事そのものが楽しみで、他に趣味を求める気もなく、また時間的にもゆとりが無いという人もいられるわけで、これもまたよからうかとも思います。と申すのも、もともと人間にはそれぞれの生き方があるわけで、一概には申しにくいけですが、ただ定年退職後の生き方を考えた場合には、本業の他に何か一つ

くらいの趣味はあつた方が、晩年の生活に一段と樂しみが加わるだけでなく、そこには又人間的な深みも感ぜられるのではないかと思います。わたくしは、三十代のなかばすぎより「石」の趣味を持ち出して、それが唯一の趣味だつたわけです

が、その後愛好家がふえて「石」ブームになつたのでピタリと止めました。とにかく今なお「石」をはじめとして、陶器や絵画は観るのが好きな方であります。これも実父の方からの血の影響かと、この歳になつて改めて思う次第であります。ところで序に申しますが、わたくしは血液型はB型であります。どちらか言えば多角的関心の方ですが、いつも申すように、腰骨を立てる」とによつて、からうじて主体性が保てたかに思う次第です。それにつけても思うのは、十五歳のとき岡田虎二郎の偉容に接して、それ以来つねに腰骨だけは立てつづけて今日に到つた恩恵のありがたさを、痛感せざにはいられないであります。このようにわたくしの根は多角的関心のつよい方ですから、草木や野草にも多大の関心を寄せるのであります。それも野草の花をコップにさして娯しむというようなやり方であります。

趣味の条件

ですからわたくしの趣味と申しましても、時間も費用もほとんどかからぬわけで、その時どきに廻りあつたものを出来るだけ噛みしめて味うという程度ですから、これが趣味と言えるかどうか甚だ疑問ですが、生涯素人の勝手な味わいの方をしているわけであります。ところで「趣味」と一口に申しましてもスポーツ・音楽・書画・陶芸をはじめとして詩歌・園芸・囲碁・魚釣・その他まことに千差万別で、々あればキリのないほどで、ここにもまた人間のもつ多様性の味わいの尽きせぬものを感ずる次第であります。

そこでわたくしの考え方としては、一般的には趣味はあまり時間と費用のかからないことが望ましく、かつ出来れば相手を必要とせぬもので、自分一人で楽しめるものがよいのではないかと思われます。こんなことを申しますと、必ず一笑に付せられましょうが、趣味の本旨からいえば、娯しみ味わうのが目的であつて、技を競い合うのが目的ではないはずで、また本業以外にあまり時間と労力を費すようではならぬのではないでしょう。その上に、家庭経済の上からも、趣味への出費は出来るだけ抑えねばならぬはずであります。ところが、人間のもつ本性として、なかなかそうはいかぬもので、詩歌を例にとって見ましても、結社に入りますと、出品作品で技を競う気持ちにおのずからなるわけであります。ところが結社に入るときによって、指導を頂ける上に切磋琢磨の機会にめぐまれ、作歌持続の機会に多くめぐまれるという利点があるわけで、いずれにしても「両方よい事はない」わけで、一長一短と申しましようか、いずれにしても最後は本人の決断次第という事になります。

話は変わりますが、戦前わたくしは大阪の天王寺師範に長く教職をとつていた関係上、今なお国民教育者と多くの縁を頂いているわけですが、教育者に対してわたくしほど「定年退職後の生き方」について力説して来たものは少ないのではないかと思うほど、晩年の生き方を説いて参つたのであります。その内の一つとして、若き日から晩年にそなえて、ゼビ趣味をもつようにと奨めてきたものです。趣味は若い時に入門の手ほどきを受けておりませんと、晩年になつて始めたのは、遅きに失するキライがありますゆえ、なるべく若い日から基本の習得を心掛けたいものであります。

人間のたしなみ

ところで趣味とならんとよく言われる時は教養というコトバですが、これは人間の香りとでもいうべきもので、単なる博識だけでは決してないはずです。で

すから教養とは、一部の切り売り的な知識の豊富さや、ましてその見せびらかしなどでは断じてなく、その人のもつ人間的なたしなみというものだと思います。それゆえ教養とは、全人的な品位というか香りともいうべきもので「清虚」、「清悦」「清朗」という一連の漢語のもつニユアンスに通ずるものとも申されましょうか。

同時にこうした教育を身につけるには、これまた「朝一夕にできる」とはなにわけで、それには一かどの書物に接し、一かどの人物に隨き、できるだけ一流の物に触れることが肝要かと思われます。しかしこれがまた実際にはなかなか容易でないわけですが、この内でも良書に親しむことが、一ぱん手つとり早い近道かと思われます。そして次に大事なことは「師を求め、師に随く」ということですが、「師を得る」ということは、その人の一生にとつてまさに運命の岐路ともいえましょう。しかも「れは「求めよ、さらば開らかれん」という聖書のコトバの通り、自ら求道の志なくば、かなえられるものではないのであります。

歴史上皆さん方も「承知のように「松坂の一夜」における加茂真淵と本居宣長の「あい」や、また中江藤樹の門を三度叩いた熊沢蕃山といい、師弟邂逅の因縁の不可思議さを痛感せずにはいられません。こういう歴史的な事柄でなくとも、わたくしたちの生涯を決する出あいというものが、大小さまざまに生起しているわけでありまして、「時」や「人」そして「もの」さえおろそかにしない所に、リツバな「あい」に逢着できるものでしよう。

ところで、教養すなわち「人間的たしなみ」ということですが、その端的なあらわれは、言葉や態度に最もよく現われる故、それらの慎しみ深さということが、ある意味で教養のバロメーターといえようかとも思われます。とりわけ「コトバの慎しみ」ということは、いかほど心得ましても、心得過ぎるということはないと思われるほどであります、このことは良寛禅師の「戒語」を見ても分かるわけであります。

第一章 掃除が奇跡を起す

なぜ、トイレ掃除なのか？ 五つの効用

私が、「なぜトイレ掃除か」ということについて考えていることは、五つあります。これは「日本を美しくする会」「掃除に学ぶ会」でも使われ、心にとめておいてもらっています。その五つの効用をご紹介します。

③感動の心を育む

感動こそ人生。感動が生まれるには自分自身も感動しやすい人間になることです。手と足と身体を使い、さらに身を低くして取り組むトイレ掃除は、感動の心を生む最良の実践です。

「自分がこれだけやつたから、こんなにきれいになつた」という達成感は感動の最たるものです。ゲームの画面をクリアしていくのとはわけが違います。ゲーム世代といわれる子どもたちが、自分の手でトイレをきれいにした後の笑顔は最上級の輝きを放ちます。

それは、そういう体験をこれまで大人がさせてこなかつただけなのです。感動する心がなければ、気づく心も育ちません。感動するからこそ、次に何をしたらいいだろうという前向きな動きが生まれるのです。

感動は分から合うことでも大きくなります。自分の力を出しきった人、それまで気づかなかつたことに気づいた人のすがすがしさに私たちも感動します。またその感動は人に喜ばれて何倍にも大き

くなります。きれいになつた場所を使う気持ちよさを人に味わわせてあげられる。そのことを幸せと感じられる人こそが、本当に幸せになれるのだと思います。

④感謝の心が芽生える

人は幸せだから感謝するのではない。感謝するがら幸せになれる。その点、トイレ掃除をしていると小さなことにも感謝できる感受性豊かな人間になれます。

トイレ掃除は人のやりたがらない仕事です。自分でトイレ掃除をすると「なぜ自分がやらなければいけないんだ」という気持ちが「どうしてこんなに汚くなってしまったんだろう」「今まで誰が掃除をしてくれていたんだろう」という気づきに変わっていきます。その気づきが「こんなに汚いところを掃除してくれてありがとう」という感謝の心を生みます。

「○○次第」という言葉がありますが、この○○に「相手次第」「お客様次第」と他人をあてはめて、物事を人のせいにしているようでは、感謝の気持ちちは生まれません。すべてを「自分次第」「工夫次第」感謝するようになります。

トイレ掃除も、「汚した人が悪い」と人のせいにして放つておいて状況が改善するということはありません。自分の身を低くして手足を使つて磨き、美しくする。そのトイレを人が大切に使つてくれるようになれば、「きれいに使つてくれてありがとう」と感謝する」とができます。

日本一きれいな博多駅・福岡の街に！

第377回

博多駅 早朝清掃

毎月**8**日 午前6時15分～

【第一回】平成5年12月8日開催

福岡実践人・JR九州博多駅
精華女子高等学校・福岡掃除に学ぶ会

北九州新聞 ハウスマイト



第377回 博多駅早朝清掃 32年目
4月8日(火曜日) 47名参加



博多駅早朝清掃が377回目、今回から精華女子高等学校の新3年生が司会進行を担ってくれることになりました。この日は、入学式で在校生は休みですが、お掃除にためにだけに博多駅に足を運んでくれました。大学生になった三人も後輩の新3年生の応援に駆けつけてくれました。このような善き伝統を博多駅早朝清掃に参加し続けたことで出来上がったとすれば、天界の帆足先生も本望でしょう！帆足先生、博多駅早朝清掃の世話をさせて頂きありがとうございます。世話人：けさえもん 拝



お掃除の歌を熱唱

2025/04/08



先輩後輩が仲良く前に立ってくれてます



初 参 加 の 方 た ち

2025/04/08



自主的に色々な行動へ！



道具係も務めてくれています

2025/04/08



感想発表も素敵な笑顔

2025/04/08



最高の笑顔をどうぞ！！

2025.4.20 於：大阪掃除に学ぶ会



大阪天満宮

2025.4.20 於：不尽掃除に学ぶ会



森信三先生ゆかりの立花駅前清掃



念願の森信三先生全集14巻を入手 (最幸)

令和7年5月1日発行

～古き良き時代の日本再生～

とくよみうら

Instagram



@RAKUNOUJIN1962

= = = 心を耕し、生を拓く = = =

くにひ

第2回年次大会



2025/04/05

令和7年(2025) 5月号 NO.030

2025.4.5 鹿児島県薩摩川内市



同志道友が串木野新港に到着→新造船「結KOSHIKI」



今回の年次大会に 1300 Km離れた宮城県多賀城市より乗船



大会前夜は、袈裟右衛門の餌島応援隊の「漁火」で小宴

2025.4.5 於:長目の浜にて第2回年次大会お掃除



第一回と同様の長目の浜田之尻展望所より海岸へ降りるコースを選択



意気揚々とお掃除に取組もうとする道友達の笑顔最幸



海岸へ降りた道友達の笑顔が消え背中には哀愁を感じ無言になった！

とんぼろ掃除に学ぶ会／薩摩川内市 in長目の浜

第26回 長目の浜海岸清掃 《楽農人／とんぼろ海掃隊》



後援



第二回とんぼろ掃除に学ぶ会「長目の浜海岸清掃」の実績をもって、4月21日環境省自然環境局 国立公園課及び同省環境再生・資源循環局 廃棄物適正処理推進課の担当職員と霞が関で面談することができました。これまで喉に刺さっていた棘がスーと抜けた瞬間でした。長目の浜の漂着ごみZEROに大きく前進することを確信いたしました。名実ともに眺めのいい浜「長目の浜」の実現ががそう遠くない時に！！



喜び
を迎えた



春風
一時に来る
白樂天

	5月					6月					7月					
日	5	8	17	18	31	1	8	15	17		6	8	13	20	17	
曜	月	木	土	日	土	日	日	日	火		日	火	日	日	木	
行事活動名	長目の浜海岸清掃 第28回	博多駅早朝清掃 第378回	福岡空港ミリオン清掃84回	戒壇院早朝作務 第24回	福岡掃除に学ぶ会 世話人会	長目の浜海岸清掃 第29回	博多駅早朝清掃 第379回	戒壇院早朝作務 第24回	福岡空港ミリオン清掃85回	夢拾い	多賀城掃除に学ぶ会 年次大会	長目の浜海岸清掃 第30回	博多駅早朝清掃 第380回	関西ブロック大会in大阪	福岡空港ミリオン清掃86回	夢拾い
場所	鹿児島県薩摩川内市	博多駅博多口	福岡空港周辺	太宰府市戒壇院境内	鹿児島県薩摩川内市	博多駅博多口	太宰府市戒壇院境内	福岡空港周辺	宮城県多賀城市	鹿児島県薩摩川内市	博多駅博多口	福岡空港周辺	大阪掃除に学ぶ会	福岡掃除に学ぶ会	福岡掃除に学ぶ会	
開始時刻	6時30分	6時15分		6時30分		6時30分	6時15分	6時30分			6時15分	6時30分	6時30分	6時30分		
運営団体▼	楽農人とんぼろ海掃隊	福岡掃除に学ぶ会	福岡掃除に学ぶ会	太宰府作務に学ぶ会	福岡掃除に学ぶ会	太宰府作務に学ぶ会	福岡掃除に学ぶ会	太宰府作務に学ぶ会	福岡掃除に学ぶ会	多賀城掃除に学ぶ会	福岡掃除に学ぶ会	多賀城掃除に学ぶ会	大阪掃除に学ぶ会	福岡掃除に学ぶ会	福岡掃除に学ぶ会	

上記行事予定表は、富吉の参加予定の行事を掲載させていただいている。その他、活動しているお掃除実践もございますので、事務局にお問い合わせください。



根っこは
みづがたき
歳



発行人(編集人)富吉 製裟右衛門

◇NPO法人福岡実践人 福岡掃除に学ぶ会

Lineグループ運営:福岡清爽クラブ

◇福岡仁風読書会

◇NPO法人楽農人 とんぼろ掃除に学ぶ会

〈合同事務局〉 〒811-2247

福岡県糟屋郡志免町向ヶ丘2丁目4番3号 《仁風庵》

TEL 092-931-8155 FAX 092-931-8120

E-mail fukusoukai@souji.link (掃除)

こしき仁風庵:鹿児島県薩摩川内市里町里90番地



@F_JISSENJIN

「再生」に掲載している写真は、富吉が撮影・管理しています。必要な方は事務局までご連絡ください。